

山王幼稚園・保育園 **仕込み事業を体験** **みそ、おいしくなあれ**



園児がみその造り方に触れる教室が秋田市山王の山王幼稚園・保育園で開かれ、年長園児65人が仕込み作業を体験した。

園児は県味噌醤油工業協同組合(安藤大輔理事長)の職員らの指導を受け、「おいしくなあれ」などと声をかけながら米こうじと塩、大豆を手で丁寧に混ぜ合わせ

た。拳ほどの大きさに丸めた後、気泡が入って雑菌が繁殖しないようたるに勢いよく投げ入れて仕込みを済ませた。平井智悠ちゃん(6)は「(混ぜ合わせた材料は)冷たくてチーズみたいな匂いがした。みそキュウリにして食べたい」と話した。

仕込んだみそはおよそ40キロ。市内の業者の元で半年ほど寝かせ、11、12月ごろに児童の元に届く。園では給食のみそ汁などにして振る舞うことにしている。

教室は組合と、県内で活動する食育団体「一杯の味噌汁プロジェクト」が共同で18日に実施した。みそ汁を通じて食や命に向き合ってもらおうと、各地の幼稚園や保育園で開いている。(石川彩乃)

(令和7年6月24日(火)秋田魁新聞より一部抜粋)